

評 価 証

第 1 1 0 0 1 号

【技術の名称】

ワイドグラブバケット(WGB)浚渫工法

1. 依 頼 者
法人の名称 東亜建設工業 株式会社
住 所 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号
2. 評価の前提
評価の前提は、本技術の適用にあたって依頼者が推奨する方法で使用されるものとする。
3. 評価の範囲
評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、施工実績の結果等により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書第11001号に示す。
4. 評価の結果
ワイドグラブバケット(WGB)浚渫工法は、航路・泊地浚渫の仕上げ掘りおよび薄層浚渫において、粘土質土砂(N値10未満)を適用対象として「浚渫効率の向上」と「環境保全」に寄与する以下の4項目が確認された。
 - (1) 仕上げ掘りおよび薄層浚渫における浚渫効率の向上を図るため、従来工法と同等のサイクルタイムで、時間当りの浚渫土量を50%向上かつ時間当りの浚渫面積を50%向上させることが確認された。
 - (2) 仕上げ掘りおよび薄層浚渫における浚渫効率の向上を図るため、従来工法と同等の掘削深度で、仕上げ面の出来形平均値からの差が±15cm以内に収まる割合を従来工法より10%向上させることが確認された。
 - (3) 仕上げ掘りおよび薄層浚渫における濁り発生原単位を従来工法より30%低減することが確認された。
 - (4) 浚渫土量当りおよび浚渫面積当りのCO2発生量を従来工法より、それぞれ30%低減することが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は5年間とする。

平成 23 年 11 月 30 日 第11001号

平成 28 年 11 月 30 日 第1回目更新

令和 3 年 9 月 30 日 第2回目更新

一般財団法人 沿岸技術研究センター

代表理事・理事長 宮崎 祥一

